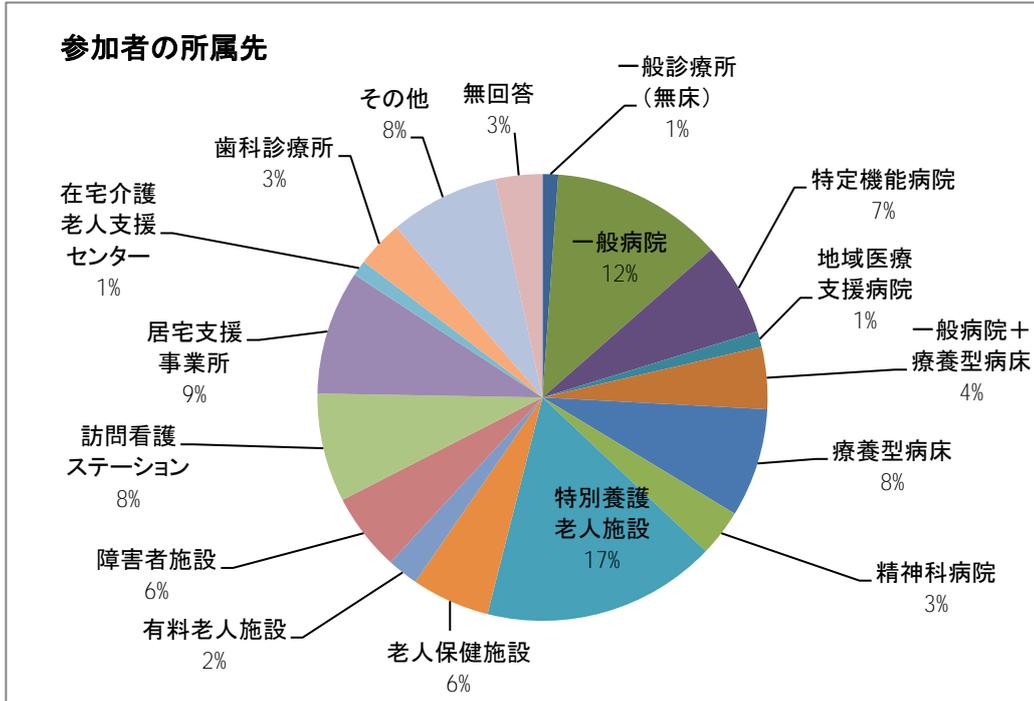


第8回神奈川PDNセミナー・アンケート結果

平成22年7月24日
(サンプル数89)

I. 参加者のプロフィール

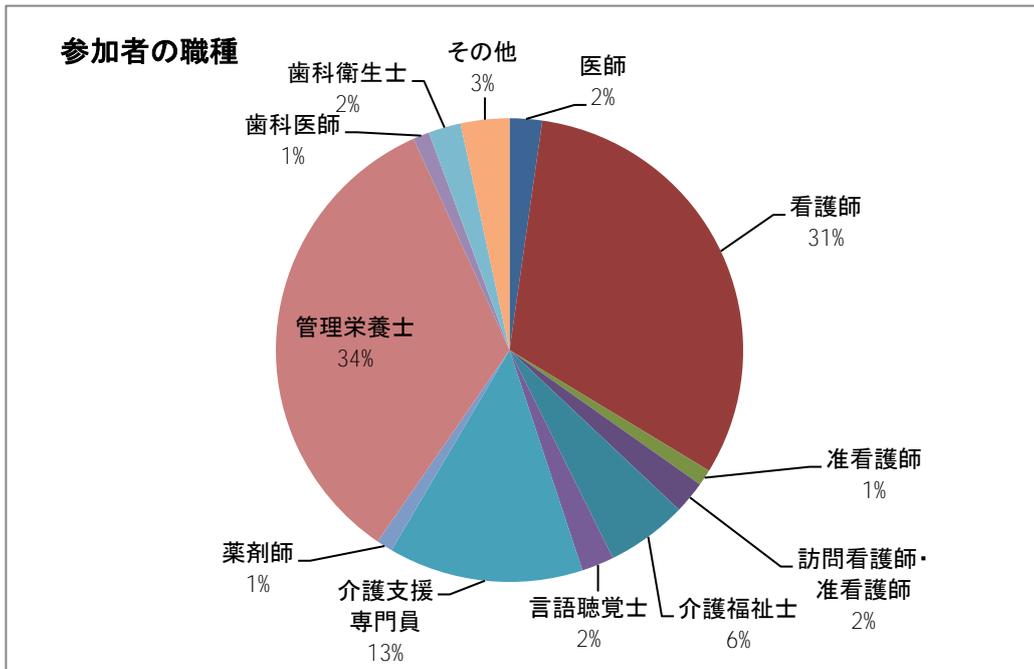
■参加者の所属先



その他：調剤薬局、グループホーム、養護学校、医療機器メーカー、器械メーカーサポート、流動食販売食品メーカー

N=89

■参加者の職種



その他：内視鏡技師、商品開発、メーカーテクニカルサポート

N=89

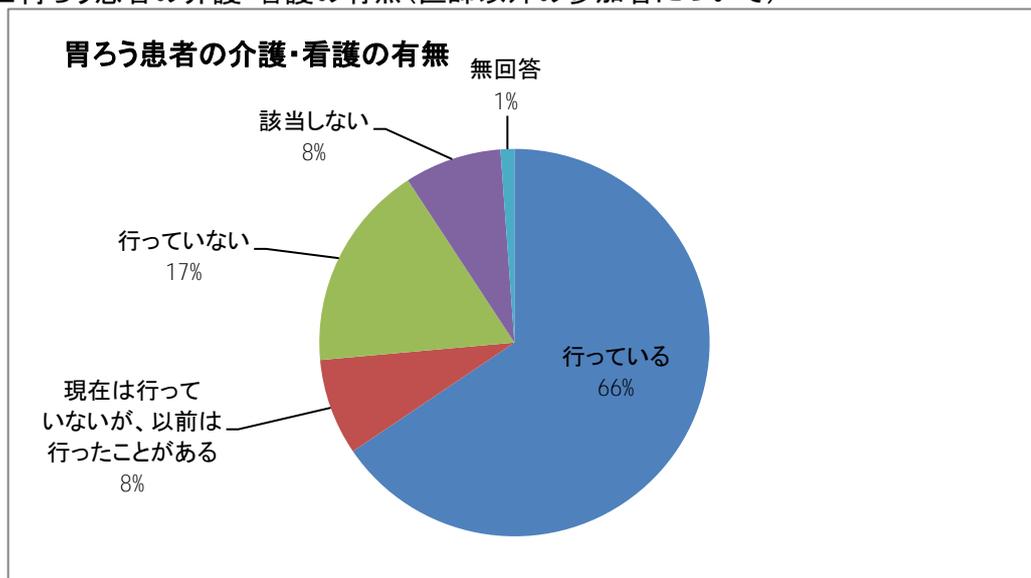
■所属先の所在地

N=89

市、郡	横浜市	相模原市	伊勢原市	横須賀市	川崎市	鎌倉市	海老名市
人数	40	5	4	4	4	3	2
%	44.9%	5.6%	4.5%	4.5%	4.5%	3.4%	2.2%

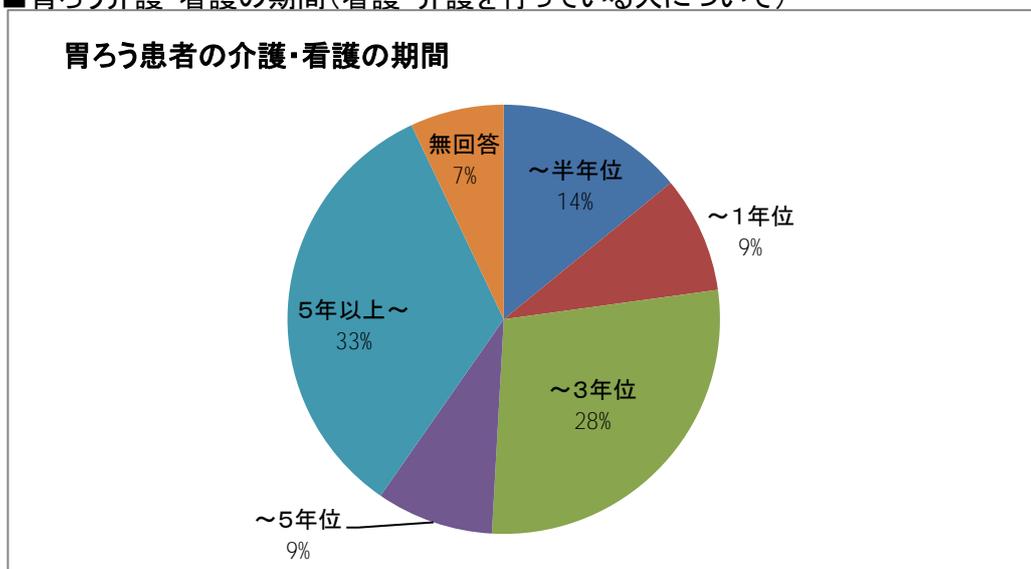
厚木市	川崎市	平塚市	神奈川県のみ記入	東京都	埼玉県	無記入	合計
2	1	1	3	10	2	8	89
2.2%	1.1%	1.1%	3.4%	11.2%	2.2%	9.0%	

■胃ろう患者の介護・看護の有無(医師以外の参加者について)



N=87

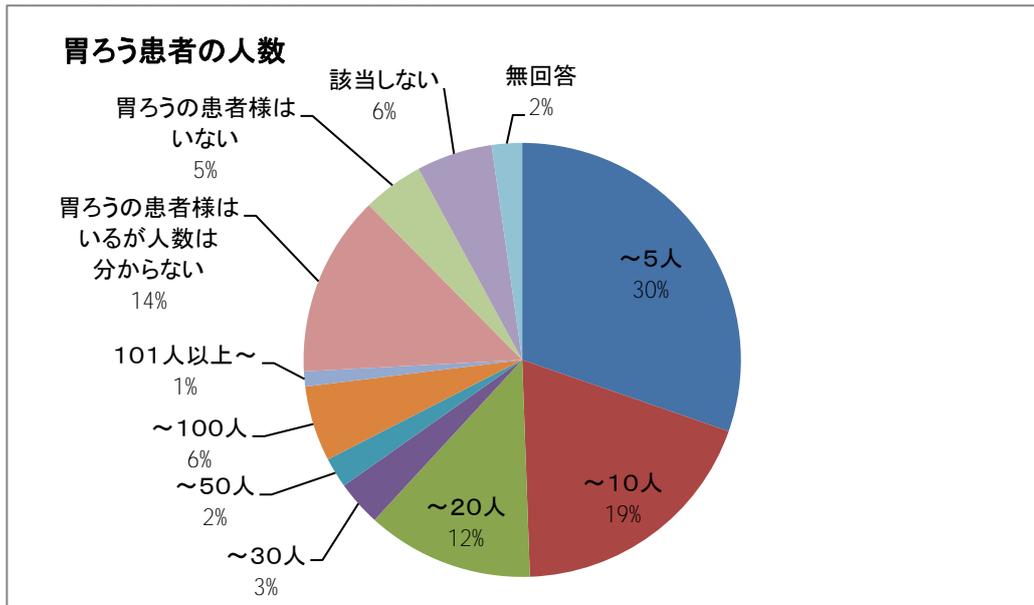
■胃ろう介護・看護の期間(看護・介護を行っている人について)



N=57

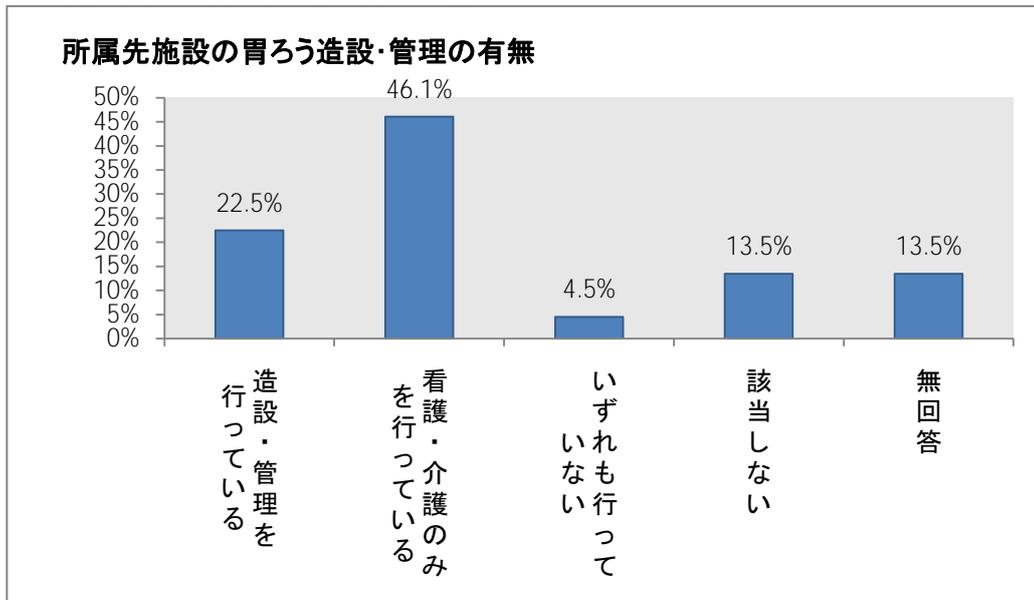
II. 所属先施設の胃ろうの現状

■ 所属先施設の胃ろう患者の人数



N=89

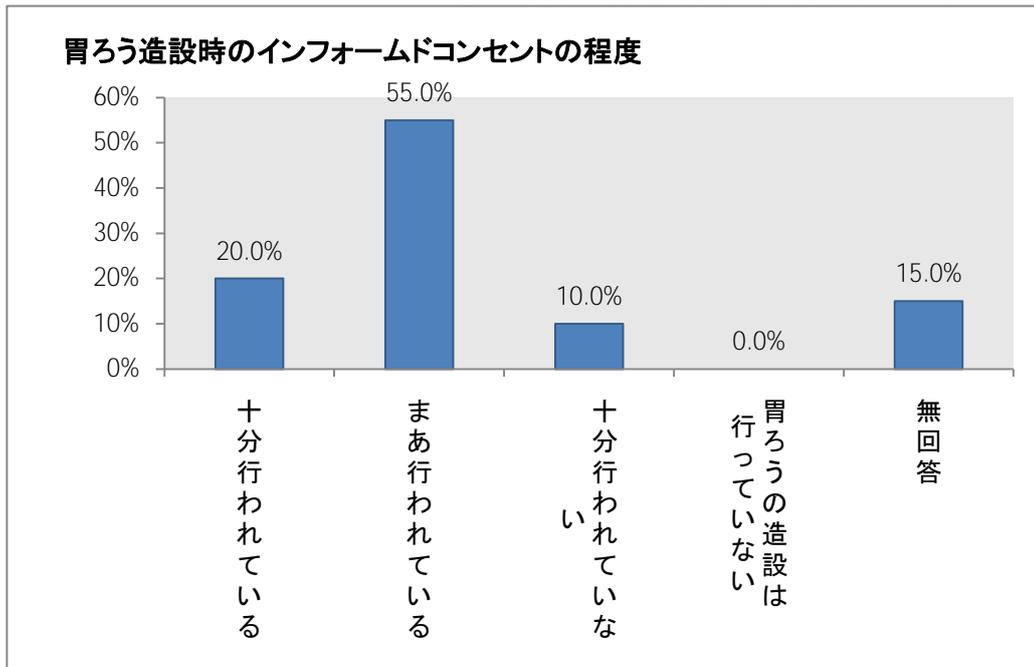
■ 所属先施設の胃ろう造設・管理の有無



N=89

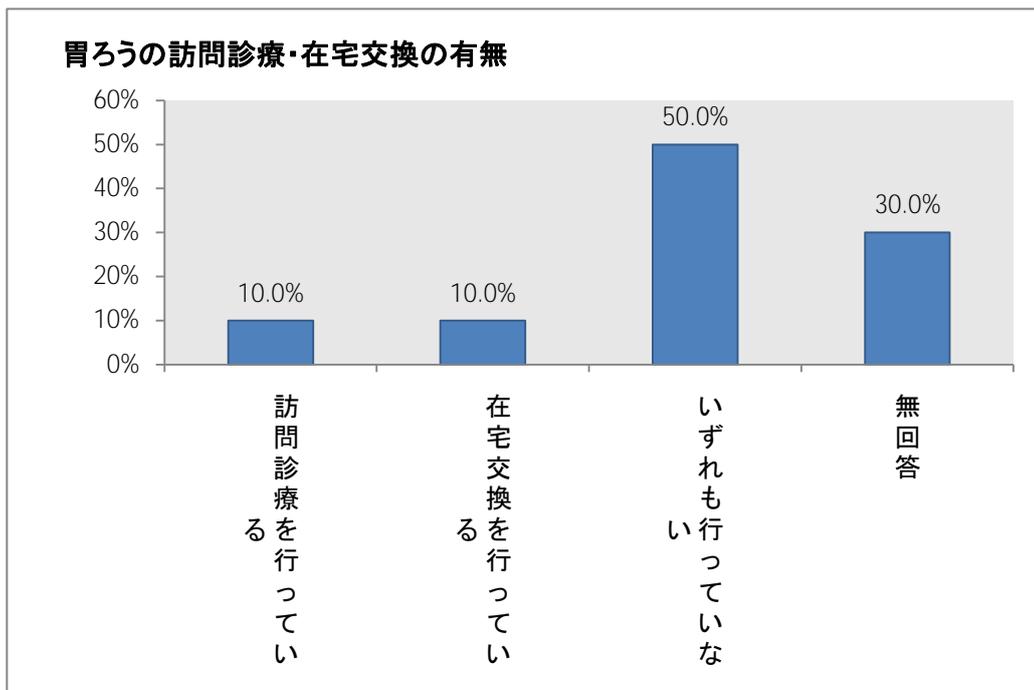
■ 胃ろう造設時のインフォームドコンセントの程度

(所属先が胃ろうの造設・管理を行っている参加者について)



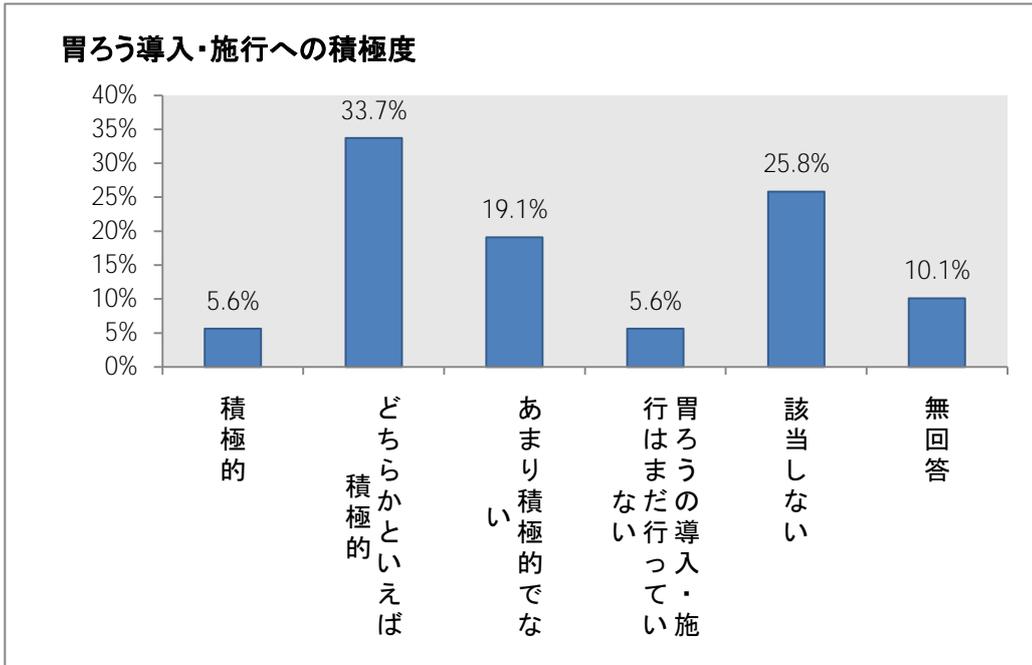
N=20

■ 所属先施設の胃ろうの訪問診療・在宅交換の有無



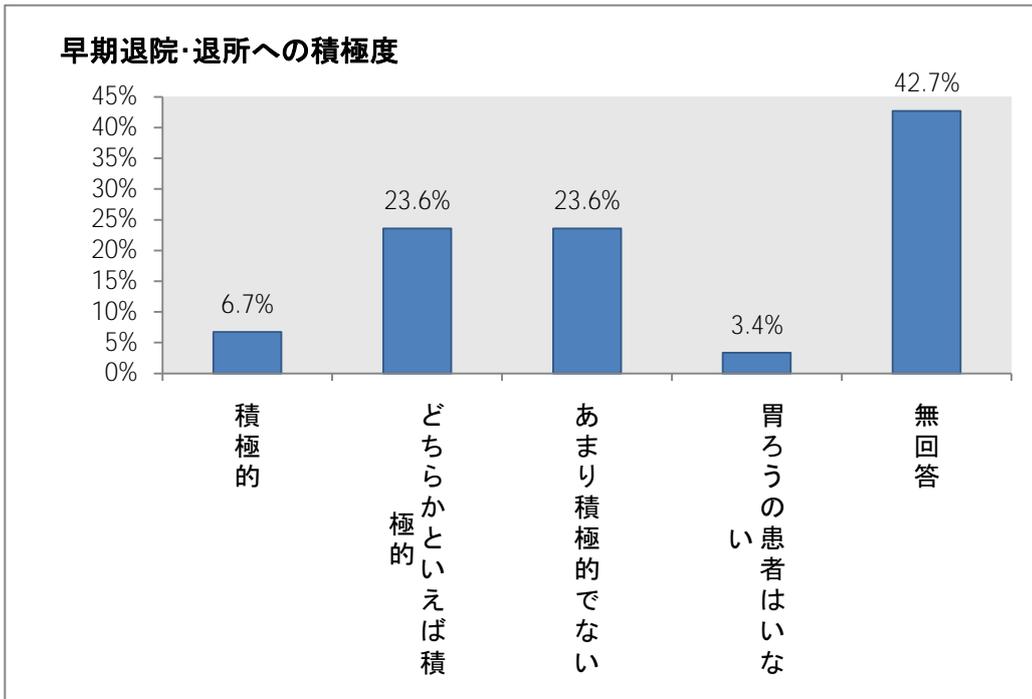
N=20

■ 所属先施設の胃ろう導入・施行への積極度



N=89

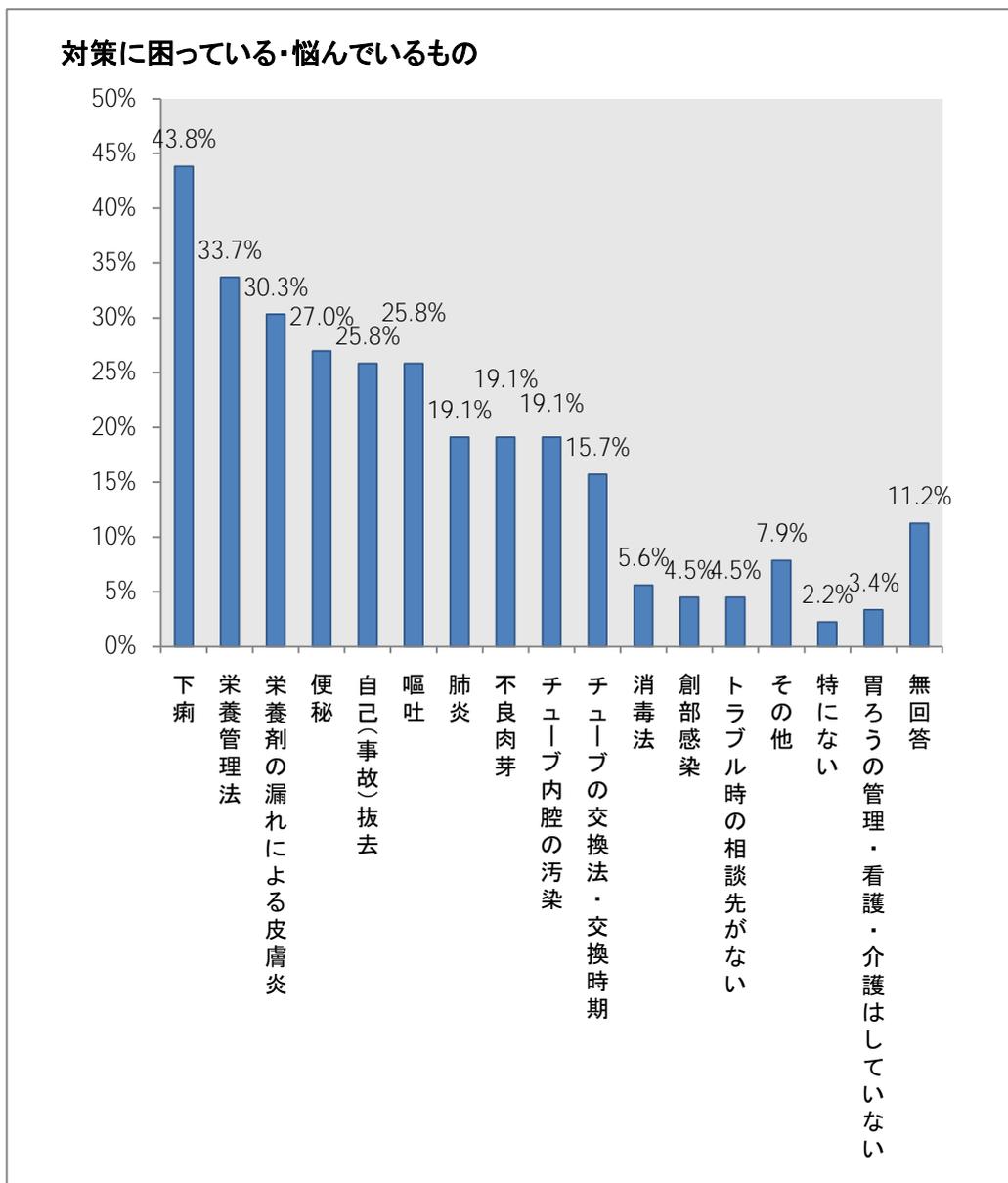
■ 所属先施設の早期退院・退所への積極度



N=89

Ⅲ. 胃ろうの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの(複数回答可)

■ 対策に困っている・悩んでいるもの



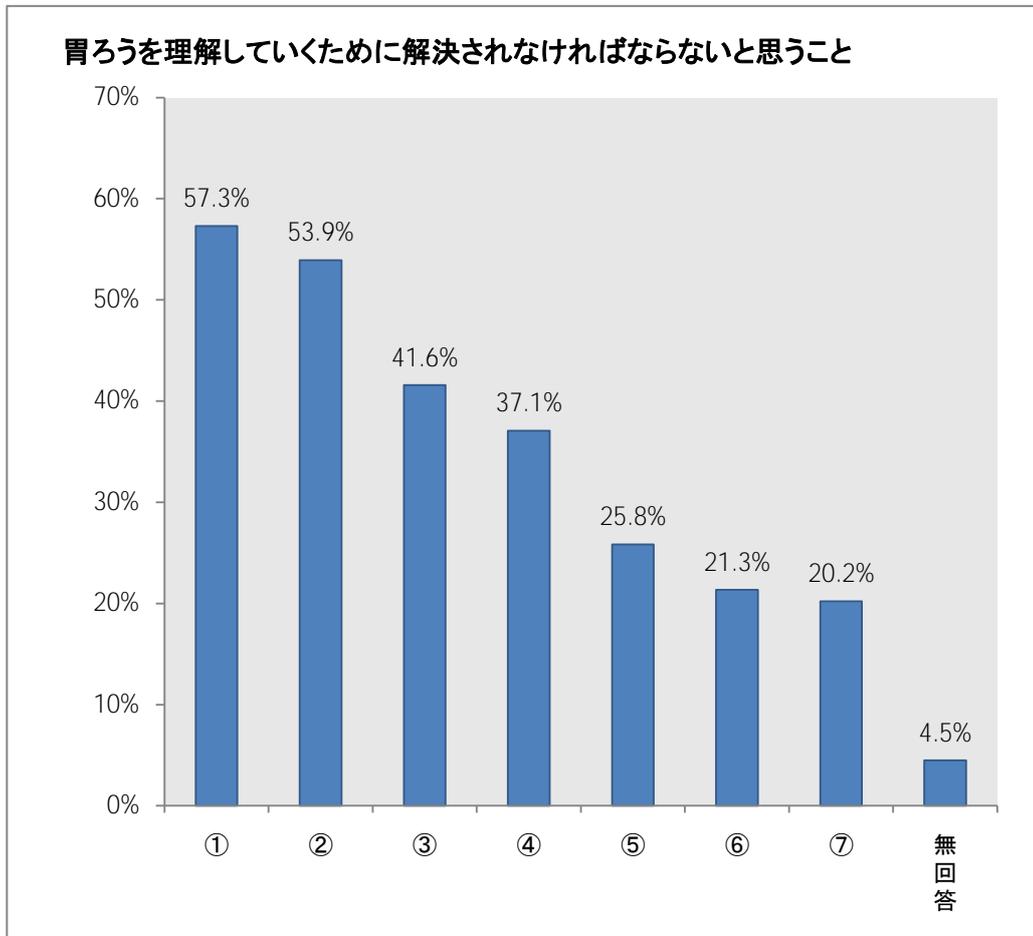
N=89

その他: 人手。
 逆流。
 注入後に唾液・ムセが増えること。
 患者様によって異なるが、体重増加が多い。
 ショートステイなど施設の受け入れ先が少ない。
 固形化栄養導入後、量が入らなくなった(高齢者)。
 経口摂取と併用なため、今後の見通しやPEGの必要性等、医師と家族間でズレがあ

IV. 胃ろうをもっと理解していくために、解決されなければならないと思うこと。

(3つだけあげてもらった複数回答)

■ 胃ろうを理解していくために解決されなければならないと思うこと



N=89

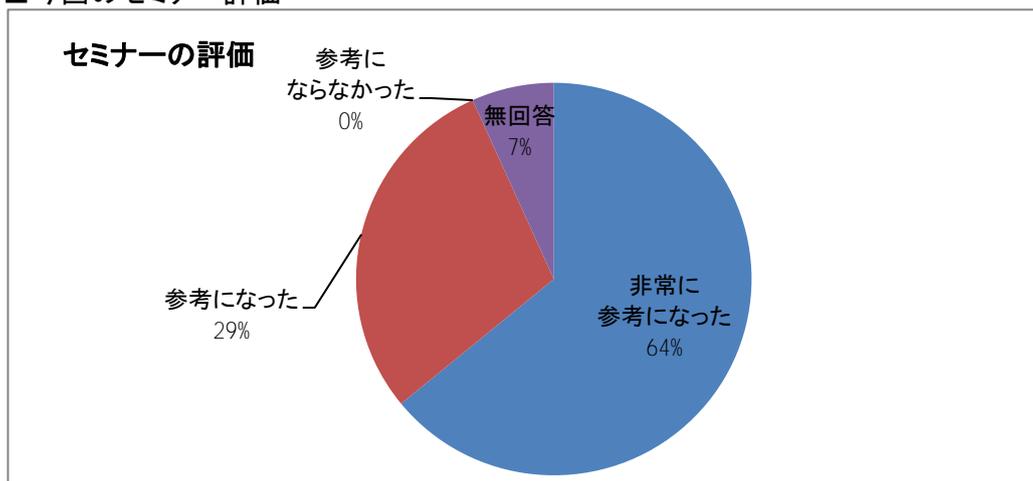
①	胃ろうについての勉強会の充実。(胃ろうの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	57.3%
②	食べられなくなれば即胃ろうというのではなく、胃ろう本来の「役割」をいま一度考え直してみること。	53.9%
③	造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	41.6%
④	胃ろうの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	37.1%
⑤	専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	25.8%
⑥	胃ろうの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	21.3%
⑦	一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	20.2%

無回答

4.5%

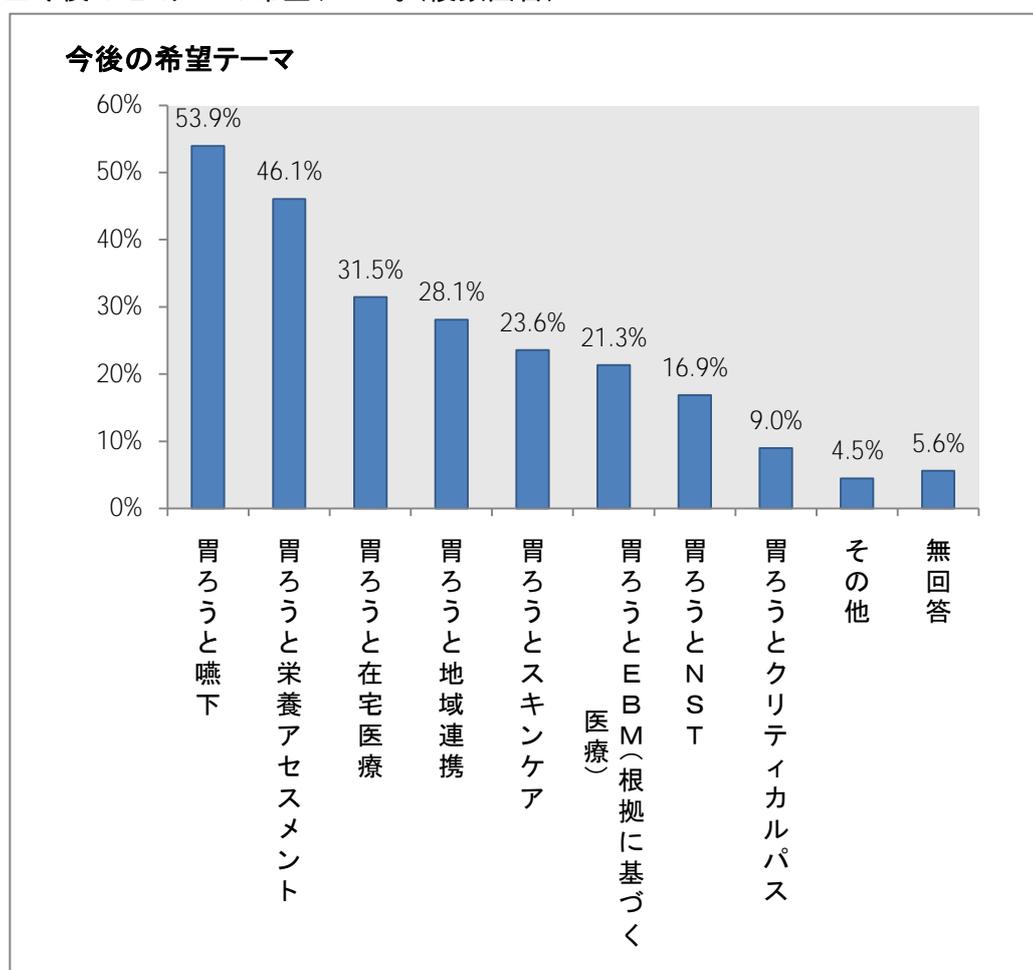
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

■ 今回のセミナー評価



N=89

■ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)

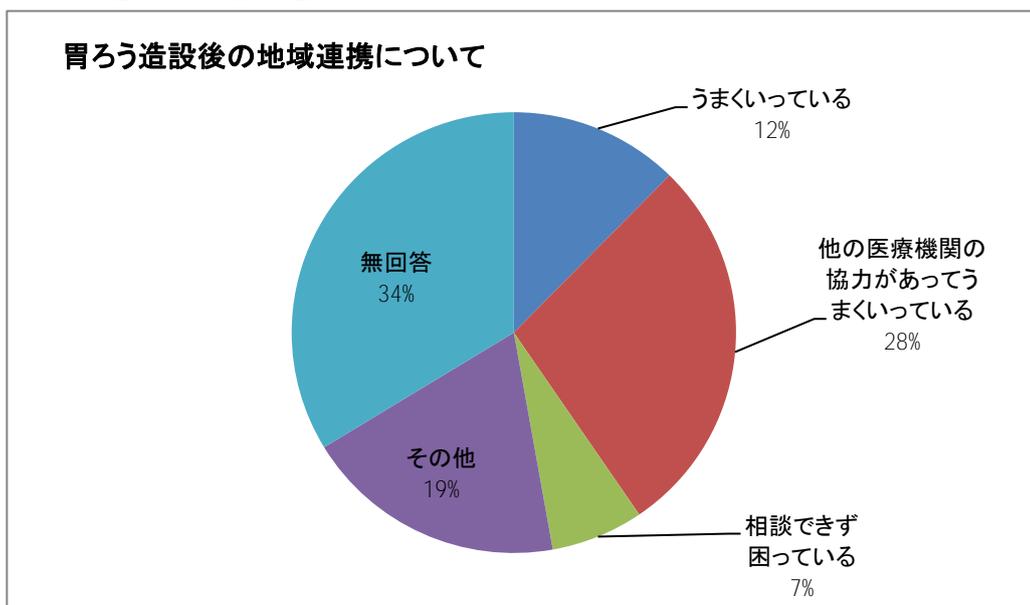


その他: 胃ろうとリハビリテーション。
 これからの胃ろう、進歩する胃ろう。
 チューブ内腔汚染対策、メリット、デメリット。
 胃ろうとターミナルケア、胃ろうと老衰。

N=89

VI. 地域連携について

■ 胃ろう造設後の地域連携について



N=89

その他：不明。

わかりません。

把握していない。

上手くいっていない。

もっと知識と経験が必要。

それぞれの主治医によって違う。

老健で本入所の受け入れが少ない。

胃ろうについて相談出来る仲間がいない。知識を共有できない。

各々でスキルの差が大きくなっている印象で、連携が取れそうでほとんどとれていないのでは？

在宅につなげることが多いが、患者・家族への手技獲得や往診医につなげる際のトラブルがある。栄養剤がワンパターンである。

協力病院以外で造設(家族の希望)の場合、その後の協力態勢が慣れていないので、むずかしい。家族と病院で対応しており施設が介入できない。

サービス事業所間では良かったが、家族の疲労が強く「殺したい」という思いにかられた、造設したことに対して強い後悔があり、自身は絶対造設しない、と言って施設によって知識の差が大きく、腸瘻で転院した患者について、投与する水の量を記載せずに栄養剤とNaCl量のみ継続され、強度な脱水を起こして1Wで戻ってきたケースがありました。記載しなかった点も反省点ですが、補完的にできなかった(してもらえなかった)ことも悔やまれます。

VII. 自由回答意見

問. 胃ろうの理解やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。
忌憚のないご意見をお聞かせください。

- ・ 18:00くらいまでがよいです。
- ・ アンケートが分かりづらい。
- ・ 栄養量、高齢者・児童 etc。
- ・ 多職種による座談会をやってほしい。
- ・ とても楽しく聞くことができました。
- ・ 具体的なセミナーで良かったと思います。
- ・ 動画で胃ろう造設を観ることができ、貴重でした。
- ・ 本日は大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 私自身、違う立場として、大切な情報を得ることができました。
- ・ 日々疑問に思っていることばかりで、とても参考になったセミナーでした。
- ・ 今日は大変参考になりました。質問の時間がもう少し多いとありがたいです。
- ・ 今後も実践に役立つ内容のセミナーを企画してください。楽しみにしています。
- ・ 疑問に感じていることを答えていただく形が大変理解しやすく勉強になりました。
- ・ 素晴らしいセミナーでした。有意義な時間が持てました。ありがとうございました。
- ・ 在宅について勉強を始めたばかりです。これからも参加させていただきたいと思います。
- ・ 関係者の皆様、お疲れ様です。PRをしっかりとやって、広く多く多職種に参加してもらいましょう。
- ・ JRから近い会場はいかがでしょう？
Q17: コメディカルでなく、Dr.への理解など、PRが必要。
- ・ 質問に対する自分の答えを書く・考える時間が必要だと思った。その上で講師陣からの回答を聴きたかった。
- ・ 薬剤扱いの栄養剤の単価を知りたいと思った。薬で栄養剤の優先度があれば知りたい(例えばWFなど)。
- ・ 参加費も他の研修に比べて低く、でも内容はとても充実しているので、参加しやすいです。今後も、是非続けて欲しいです。
- ・ 経管栄養から胃ろうになることで、顔の表情が良くなり、のどのゼコゼコも軽減されるので、長期の重心の方には胃ろうをすすめていきたい。
- ・ 本日の第2部は、現場で実際に起きていること、困っていることが8割程度あり、とても理解しやすい内容でした。チーム医療の重要さが、今後の課題だと思いました。
- ・ 今日初めて参加させていただきました。何度も肺炎を起こした後に造設するケースが多いので、経口への移行はほとんどできません。いつも造設する意味を考えてしまいます。
- ・ 在宅で、利用者様ご家族から、「胃ろう」を造って良いことだったのか、など疑問の声もおあります。胃ろうに対するムンテラ、治療の選択が大事ということを強く感じました。
- ・ まだわからないことが多いので、分かりやすいものでお願いします。でも、わからなくても回数重ねて聞いて行って分かるので、続けることを頑張ります。今日はとても良い形式だったと思います。
- ・ 今回初めて参加させていただいたが、とても勉強になった。日頃疑問に感じていても流していたことを、改めて見直すことができた。かえて参加費が安くて、申し訳ない気がしました。ありがとうございました。
- ・ 胃ろうについての考え方が昔とは変わってきている。「平穏死」の本を是非読んでみたいと思います。主催者側のご苦労がよくわかります。良い研修会にしようという意気込みが感じられ、大変ありがたく思いました。
- ・ 胃ろうにしても食べられるようになりますよ、という医師の言葉と退院後のギャップが大きい点が問題と感じます。造設後に本人・家族が目標をもって生活をしていける地域のシステムがあれば、前向きに暮らしていけるのではと思います。

- ・ 4月から慢性期病棟に異動になり、今まで経験が殆ど無かった。胃ろう患者が20人くらいいる病棟に勤務し自分で本で勉強しましたが、いろいろな不安や疑問があり、今日参加させていただきました。とても分かりやすかったです。どうもありがとうございました。
- ・ 食事の経口摂取が難しくなった場合、高齢者であればどのような方(年齢、身体状況など)に胃ろう造設を行うか？また、(本人の意思決定が難しい時)ご家族が胃ろう造設について、否定的な場合、Drはご家族に対して、胃ろう造設の説明(提案)をどのように行なっているか？を知りたいです。
- ・ 私は栄養士ですが、栄養剤の知識だけでなく、胃ろうの全体像を把握することが、栄養管理を行う上でまず第一歩となることを改めて感じました。様々な疑問を解決することができ、さらに知ろうという意欲も湧いてきました。ありがとうございました(新人であり、担当も小児科、産科であまりPEGに関わっていないため)
- ・ ほんとにほんとに良いセミナーでした。質問を前もって聞いていただいた上でそれに答える形、その場で質問しなくても自分に言って、と云ってくださる先生、ほんとにこんなセミナーを待っていました。また参加したいです。NSTの内容もこの形式でやっていただくけるとよいのですが。
- ・ 赤羽先生の話、講義は、いつもとてもわかりやすく勉強になります。地域連携担当のナースは、在宅の方たちの苦労も分かっていると思いますが、PEG造設している内視鏡のドクターが、どこまでわかってFaやPtlに説明しているか、不安があります。「造って、と言われたから造っている」という話も実際、聞きました。この現実のギャップ！是非、赤羽先生の爪のあかを飲ませたい気持ちです。
- ・ 今回のQ&Aの方法、とても良いと思いました。症例サンプルの時も、その時の自分の悩みとヒットするときは、必ず参加させていただいていましたが、この方法なら、何か必ず得るものがある期待があり(結果としてもそうでした)、全体的に振り返る意味で良かったと思います。症例サンプルの方法と、何回か交互でやられてはいかがでしょうか。これからも宜しくお願いします(ただし、Aの資料は、前に頂いたほうが、メモをとるのに便利かと思いました)。
- ・ 半固形についての質問:結局、液体ではなく、半固形がよいですか？

PDNセミナーアンケート

回収サンプル数:89

回答番号: 回答内容: 実数

Q1. あなたの所属先は？（ひとつだけ）

(1)一般診療所（無床）:1(2)一般診療所（有床）:0(3)一般病院:11(4)特定機能病院:6(5)地域医療支援病院:1(6)一般病院＋療養型病床:4(7)療養型病床:7(8)脳神経外科病院:0(9)精神科病院:3(10)リハビリテーション病院:0(11)特別養護老人施設:15(12)老人保健施設:5(13)有料老人施設:2(14)障害者施設:5(15)訪問看護ステーション:7(16)居宅支援事業所:8(17)在宅介護老人支援センター:1(18)歯科診療所:3(19)その他:7 無回答:3

Q2. あなたは次のどれにあたりますか？（ひとつだけ）

(1)医師:2(2)看護師:28(3)准看護師:1(4)訪問看護師・准看護師:2(5)介護福祉士:5(6)作業療法士:0(7)理学療法士:0(8)社会福祉士:0(9)臨床心理士:0(10)言語聴覚士:2(11)介護支援専門員:12(12)訪問介護員（ホームヘルパー）:0(13)薬剤師:1(14)管理栄養士:30(15)栄養士:0(16)歯科医師:1(17)歯科衛生士:2(18)その他:3 無回答:0

〔医師以外の参加者に対して N=87〕

Q3. あなたは、現在、胃ろうの患者様の看護・介護を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)行っている:57 (2)現在は行っていないが、以前は行ったことがある:7
(3)行っていない:15 無回答:7

N=57

Q4. 胃ろうの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？（ひとつだけ）

(1)半年位:8(2)～1年位:5(3)～3年位:16(4)～5年位:5(5)5年以上～:19 無回答:4

〔医師に対して N=2〕

Q5. 先生のご担当診療科目は？（いくつでも）

(1)外科:0(2)内科:2(3)内視鏡科:0(4)その他:0 無回答:0

Q6. 先生が胃ろうの施行を行うようになったのは何年位前からですか？（ひとつだけ）

(1)～2,3年位前:0(2)～5年位前:0(3)～10年位前:0(4)10年以上前～:2(5)胃ろうの施行は行っていない:0 無回答:0

Q7. 胃ろうを施行した患者様の原疾患は何でしたか？（いくつでも）

(1)脳血管障害:1(2)認知症:0(3)神経疾患:1(4)呼吸器疾患:0(5)外傷:1(6)癌:0(7)その他:0(8)胃ろうの施行は行っていない:1 無回答:0

Q8. 腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？（ひとつだけ）

(1)ある:1(2)ない:0(3)胃ろうの施行は行っていない:0 無回答:0

Q9. 貴院では、一年間に、胃ろうの施行を何件行っていますか？（ひとつだけ）

(1)～10件以下:0(2)～20件:0(3)～30件:0(4)～40件:0(5)～50件:0(6)51件以上～:0(7)胃ろうの施行は行っていない:1 無回答:1

〔以下、全員に対して N=89〕

Q10. 訪問看護・介護を含めて、御施設には胃ろうの患者様は何人いらっしゃいますか？（ひとつだけ）

(1)～5人:27(2)～10人:17(3)～20人:11(4)～30人:3(5)～50人:2(6)～100人:5(7)101人以上～:1(8)胃ろうの患者様はいるが人数は分からない:12(9)胃ろうの患者様はいない:4 無回答:5

Q11. 御施設では、胃ろうの造設・管理を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)造設・管理を行っている:20 (2)看護・介護のみ行っている:41
(3)いずれも行っていない:4(4)該当しない:12 無回答:12

〔N=20〕

Q12. 御施設では、胃ろうの造設にあたって、患者さまご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？

(Q12のつづき)

(1)十分行われている:4(2)まあ行われている:11(3)十分行われていない:2(4)胃ろうの造設は行っていない:0
無回答:3

Q13. 御施設では、胃ろうの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

(1)訪問診療を行っている:2(2)在宅交換を行っている:2(3)いずれも行っていない:10 無回答:6

[N=89]

Q14. 御施設は、胃ろうの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

(1)積極的:5(2)どちらかといえば積極的:30(3)あまり積極的でない:17(4)胃ろうの導入・施行はまだ行っていない:5(5)該当しない:23 無回答:9

Q15. 御施設は、胃ろうの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

(1)積極的:6(2)どちらかといえば積極的:21(3)あまり積極的でない:21(4)胃ろうの患者はいない:3 無回答:38

Q16. 胃ろうの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

(1)自己(事故)抜去:23(2)肺炎:17(3)嘔吐:23(4)下痢:39(5)便秘:24(6)栄養剤の漏れによる皮膚炎:27(7)不良肉芽:17(8)創部感染:4(9)チューブの交換法・交換時期:14(10)チューブ内腔の汚染:17(11)消毒法:5(12)栄養管理法:30(13)トラブル時の相談先がない:4(14)その他:7(15)特にない:2(16)胃ろうの管理・看護・介護はしていない:3 無回答:10

Q17. 胃ろうをもっと理解していくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください。(3つだけ)

- | | |
|---|---------------|
| ① 胃ろうについての勉強会の充実。(胃ろうの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など) | 51
57.3% |
| ② 食べられなくなれば即胃ろうというのではなく、胃ろう本来の「役割」をいま一度考え直してみることに。 | 48
53.9% |
| ③ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。 | 37
41.6% |
| ④ 胃ろうの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化) | 33
37.1% |
| ⑤ 専門医や専門看護者の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など) | 23
25.8% |
| ⑥ 胃ろうの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。 | 19
21.3% |
| ⑦ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実 | 18
20.2% |
| | 無回答 4
4.5% |

Q18. きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

(1)非常に参考になった:57(2)参考になった:26(3)参考にならなかった:0 無回答:6

Q19. 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

(1)胃ろうと嚥下:48(2)胃ろうと栄養アセスメント:41(3)胃ろうとスキンケア:21(4)胃ろうと在宅医療:28(5)胃ろうとNST:15(6)胃ろうとクリティカルパス:8(7)胃ろうと地域連携:25(8)胃ろうとEBM(根拠に基づく医療):19(9)その他:4 無回答:5

Q20. 造設後の連携はうまくいっていると感じますか？(ひとつだけ)

(1)うまくいっている:11(2)他の医療機関の協力があつてうまくいっている:25(3)相談できず困っている:6(4)その他:17 無回答:30

Q20. 所属先の所在地は？

県 市・郡

Q21. 胃ろうの理解やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？